

SDGs未来都市等進捗評価シート

2020年度選定

福岡県宗像市

2023年9月

SDGs未来都市計画名

宗像市 SDGs未来都市計画

自治体SDGsモデル事業
又は特に注力する先導的取組

—

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

(1) 計画タイトル

宗像市 SDGs未来都市計画

(2) 2030年のあるべき姿

市民活動や行政活動、企業活動の量的増加（まちの成長）や質的向上、付加価値の創造（まちの成熟）に向けて取り組み、それぞれの活動が相互に活性化されることで、「ときを紡ぎ躍動するまち むなかた」を目指す。

(3) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた優先的なゴール



(4) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※【】内はゴール・ターゲット番号	当初値	2022年（現状値）	2030年（目標値）	達成度（%）
1	農業者の売上高【2.4】	2018年 25 億円	2022年 24 億円	2030年 28 億円	-33%
2	fabbit宗像の活用による女性の創業者数【5.c, 8.3, 17.17】	2020年 0 人	2022年 4 人	2030年 15 人	27%
3	市内総生産【8.1】	2016年 2,110 億円	2020年 2,146 億円	2030年 2,287 億円	20%
4	創業者数【8.3】	2019年 23 人	2022年 84 人	2030年 294 人	23%
5	観光入込客数【8.9】	2018年 5,134 千人	2021年 3,759 千人	2030年 5,500 千人	-376%
6	ブランド化に取り組む鐘崎天然とらふくの価格（フェア取引価格）【1.3】	2019年 7,308 円/kg	2022年 7,300 円/kg	2030年 7,300 円/kg	100%
7	高齢者の地域での居場所等に参加した人数【3.4】	2018年 26,313 人	2022年 20,698 人	2030年 29,913 人	-156%
8	安心して子育てができると感じる市民の割合【4.2, 4.a, 5.4】	2017年 75 %	2022年 69 %	2030年 81.5 %	-92%
9	転入者数【11.3】	2017年 4,282 人	2022年 4,548 人	2030年 4,932 人	41%
10	快適な生活環境の保全に関する満足度（市民アンケート【11.a】）	2018年 3.06	2022年 3.12	2030年 3.66	10%
11	人口集中地区内の1haあたりの人口【11.3】	2015年 59.2 人	2020年 53.6 人	2030年 66.7 人	-75%

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2022年（現状値）	2030年（目標値）	達成度（%）
12	世界遺産構成資産の保全活動状況（活動回数）【11.4, 12.2, 12.3, 14.1, 15.4】	2019年 14回	2022年 15回	2030年 20回	17%
13	リサイクル率【12.5】	2019年 25.2%	2022年 23.8%	2030年 38.2%	-11%
14	市内の温室効果ガス総排出量【13.2】	2013年 604,668 t-CO2	2019年 379,052 t-CO2	2022年 530,580 t-CO2	305%
15	市民1人あたりの二酸化炭素排出量【13.2】	2013年 6.20 t-CO2/人	2019年 3.62 t-CO2/人	2022年 5.44 t-CO2/人	339%
16	環境保全のボランティア事業への参加者数【14.1, 15.4】	2019年 3,645人	2022年 2,399人	2030年 4,235人	-211%

(5) 「2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

- ・指標1. 農業者の売上高：農業漁業の流通改善による産業間取引の活性化や、飲食店と一次生産者のマッチングによる販路拡大により、農業者の売上高向上を図る。
- ・指標5. 観光入込客数：アフターコロナの時代に合った宿泊需要喚起策や観光消費喚起策の検討が必要である。
- ・指標7. 高齢者の地域での居場所等に参加した人数：新型コロナウイルスの影響により大きく低下した状況から回復傾向にあり、アフターコロナを見据えて今後も高齢者の居場所づくり事業を継続して取組んでいく。
- ・指標8. 安心して子育てができると感じる市民の割合：教育・子育て環境や地域福祉の充実に、より一層取り組んでいく必要がある。
- ・指標11. 人口集中地区内の1haあたりの人口：団地再生等による生活サービス機能の集積や、AI活用型オンデマンドバスによる地域公共交通の確保により、まちなかへの居住誘導を図る。
- ・指標13. リサイクル率：民間企業と連携し、フードドライブや服の交換会等を実施したほか、新たにペットボトルの「ボトルtoボトルのリサイクル推進」に関する連携協定を締結した。引き続きごみの発生抑制・再利用に係る取組を推進していく。
- ・指標16. 環境保全のボランティア事業への参加者数：ゼロカーボンシティ実現に向けた温暖化対策の実施、海の環境保全の促進や市民等へのSDGs啓発に向けた取組によって、環境問題に対する意識の醸成を図る。

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2020年～2022年

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2020年実績	2021年実績	2022年実績	2022年目標値	達成度(%)
1	観光分野における「稼ぐ」体制の確立	観光による市内消費額	2018年 4,548 百万円	2019年 5,480 百万円	2020年 3,759 百万円	2021年 4,674 百万円	2022年 4,600 百万円	242%
2	自然や癒しの空間を活かした「ワーケーション」の提案による離島振興	観光入込客数	2018年 5,134 千人	2019年 4,809 千人	2020年 3,566 千人	2021年 3,759 千人	2022年 5,200 千人	-2083%
3	官民連携による創業支援	fabbit宗像の活用による女性の創業者数	2020年 0 人	2020年 1 人	2021年 1 人	2022年 4 人	2022年 3 人	133%
		創業者数	2019年 23 人	2020年 46 人	2021年 58 人	2022年 84 人	2022年 93 人	87%
4	農業・水産業の基盤強化と高付加価値化	ブランド化に取り組む鐘崎天然とらふくの価格	2019年 7,308 円/kg	2020年 6,125 円/kg	2021年 6,761 円/kg	2022年 7,300 円/kg	2022年 7,300 円/kg	100%
		農業者の売上高	2018年 25 億円	2020年 24 億円	2021年 23 億円	2022年 24 億円	2022年 26 億円	-100%
5	子どもの健やかな成長・発達を支える子育て支援	地域の特色を活かしたコミュニティ活動の推進に関する満足度（市民アンケート）	2019年 3.08	2020年 2.99	2021年 2.97	2022年 3.01	2022年 3.24	-44%
6	インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進	地域の特色を活かしたコミュニティ活動の推進に関する満足度（市民アンケート）	2019年 3.08	2020年 2.99	2021年 2.97	2022年 3.01	2022年 3.24	-44%
7	ふるさと学習やグローバル人材の育成	国際交流ボランティアのマッチング件数	2018年 7 件	2020年 0 件	2021年 3 件	2022年 4 件	2022年 11 件	-75%
8	高齢者を地域で支えあう仕組みづくり	高齢者の地域での居場所等に参加した人数	2018年 26,313 人	2020年 10,468 人	2021年 11,794 人	2022年 20,698 人	2022年 27,513 人	-468%
9	団地再生の推進	人口集中地区の1haあたりの人口	2015年 59.2 人	測定中	測定中	2020年 53.6 人	2022年 62.7 人	-160%
		調和のとれた土地利用と魅力ある景観への形成に関する満足度（市民アンケート）	2018年 2.91	2020年 3.01	2021年 2.96	2022年 2.97	2022年 3.11	30%
10	新たな地域公共交通体系の確立	人口集中地区の1haあたりの人口	2015年 59.2 人	測定中	測定中	2020年 53.6 人	2022年 62.7 人	-160%
		調和のとれた土地利用と魅力ある景観への形成に関する満足度（市民アンケート）	2018年 2.91	2020年 3.01	2021年 2.96	2022年 2.97	2022年 3.11	30%
11	コミュニティの再構築	地域の特色を活かしたコミュニティ活動の推進に関する満足度（市民アンケート）	2019年 3.08	2020年 2.99	2021年 2.97	2022年 3.01	2022年 3.24	-44%
		住民参加による地域イベントの実施数	2018年 50	2020年 54	2021年 35	2022年 41	2022年 62	-75%
12	国土強靱化計画の策定と推進	環境基準達成率（釣川水質調査BOD、道路騒音）	2018年 99.3 %	2020年 100 %	2021年 100 %	2022年 89 %	2022年 100 %	-1443%

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2020年～2022年

No	取組名	指標名	当初値	2020年実績	2021年実績	2022年実績	2022年目標値	達成度(%)
13	宗像国際環境100人会議	『『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群』に関心がある人の割合	2018年 67 %	2020年 65 %	2021年 66 %	2022年 64 %	2022年 73 %	-50%
		世界遺産構成資産の保全活動状況（活動回数）	2019年 14 回	2020年 15 回	2021年 16 回	2022年 15 回	2022年 18 回	25%
		環境保全のボランティア事業への参加者数	2019年 3,645 人	2020年 1,821 人	2021年 1,876 人	2022年 2,399 人	2022年 3,825 人	-692%
14	環境保全活動の推進	環境基準達成率（釣川水質調査BOD、道路騒音）	2018年 99.3 %	2020年 100 %	2021年 100 %	2022年 89 %	2022年 100 %	-1443%
		環境保全のボランティア事業への参加者数	2019年 3,645 人	2020年 1,821 人	2021年 1,876 人	2022年 2,399 人	2022年 3,825 人	-692%
15	環境保全のボランティア事業への参加者数	環境保全のボランティア事業への参加者数	2019年 3,645 人	2020年 1,821 人	2021年 1,876 人	2022年 2,399 人	2022年 3,825 人	-692%
16	3Rの推進	自然環境の保全と再生に関する満足度（市民アンケート）	2018年 3.07	2020年 3.19	2021年 3.18	2022年 3.18	2022年 3.27	55%
		リサイクル率	2019年 25.2 %	2020年 24.4 %	2021年 24.3 %	2022年 23.8 %	2022年 38.2 %	-11%
		ごみ総排出量	2018年 31,092 t	2020年 30,323 t	2021年 29,500 t	2022年 29,613 t	2022年 29,298 t	82%

(2) 自律的好循環の形成へ向けた制度の構築等

福岡県が県内に事業所等を置く企業や団体を対象とした「福岡県SDGs登録制度」をスタートしたことから、登録企業との連携を図りつつ、本市においてもSDGs達成に向けた取組の支援を行っている。また、「大学生の力によるまちの課題解決プロジェクト」を通して、地域課題の解決に向けた取組から市の事業へ導入されたものもあり、大学や地域との連携が自律的好循環の形成へつながっている。

(3) 「自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

- ・指標 2. 観光入込客数：アフターコロナの時代に合った宿泊需要喚起策や観光消費喚起策の検討が必要である。
- ・指標 4. 農業者の売上高：農業漁業の流通改善による産間取引の活性化や、飲食店と一次生産者のマッチングによる販路拡大により、売上高の向上を図る。
- ・指標 5. 6. 1 1. 地域の特色を活かしたコミュニティ活動の推進に関する満足度（市民アンケート）：コミュニティ活動やその基盤である自治会活動を継続できる体制を構築するとともに、自治会加入促進の支援を行い、コミュニティ活動の推進に努める。
- ・指標 7. 国際交流ボランティアのマッチング件数：大学や企業、地域と連携し、むなかた子ども大学など多くの事業を展開することで、グローバル人材の育成と国際交流の推進を図る。
- ・指標 8. 高齢者の地域での居場所等に参加した人数：新型コロナウイルスの影響により大きく低下した状況から回復傾向にあり、アフターコロナを見据えて今後も高齢者の居場所づくり事業を継続して取組んでいく。
- ・指標 9. 1 0. 人口集中地区の1 haあたりの人口：団地再生等による生活サービス機能の集積や、AI活用型オンデマンドバスによる地域公共交通の確保により、まちなかへの居住誘導を図る。
- ・指標 1 1. 住民参加による地域イベントの実施数：新型コロナウイルスの影響による住民参加イベントの中止や、参加人数の制限等により、地域イベント実施数が減少している。今後は、コミュニティ運営協議会、大学、企業等と連携して、学びや活動の場を提供することで、高齢者の居場所づくりやコミュニティ活動の推進に取り組んでいく。
- ・指標 1 2. 1 4. 環境基準達成率（釣川水質調査BOD、道路騒音）：家庭・事業所における適切な排水処理に関する意識啓発、生活騒音に関する住民への啓発等の取組を通して、環境基準の達成に努める。
- ・指標 1 3. 『『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群』に関心がある人の割合：世界遺産学習を核とした「ふるさと学習」や、様々な団体や機関と連携した季節ごとの体験イベントを実施することで、『『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群』の価値と重要性を市内外へ伝えていく。
- ・指標 1 3. 1 4. 1 5. 環境保全のボランティア事業への参加者数：ゼロカーボンシティ実現に向けた温暖化対策の実施、海の環境保全の促進や市民等へのSDGs啓発に向けた取組によって、環境問題に対する意識の醸成を図る。
- ・指標 1 6. リサイクル率：民間企業と連携し、フードドライブや服の交換会等を実施したほか、新たにペットボトルの「ボトルtoボトルのリサイクル推進」に関する連携協定を締結した。引き続きごみの発生抑制・再利用に係る取組を推進していく。

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2020年～2022年

(4) 有識者からの取組に対する評価

- ・創業者数、市内総生産等経済指標を掲げているところ、目標達成は緩やかな動きであるものの、増加傾向にあると言え、さらに積極的な推進を期待する。
- ・観光や参加型事業は、コロナもあり芳しくないが、アフターコロナで回復が期待できると思料する。
- ・多くの指標で停滞傾向が見られ、中にはコロナ禍により説明できないものもあるように見受けられる。特に環境系の「環境基準」「リサイクル率」等については、要因説明が必要と思料する。